

保証書

品名	気化式加湿器	品番	dyk01	お買い上げ日	
保証期間	お買い上げ日より 1年間 （消耗品及び付属品は除く）				
販売店	（住所・店名）				
お名前		お電話番号			
ご住所					

無償交換規定

- 取扱説明書に従った正常な使用で故障した場合は、無償交換いたします。
- 保証期間内に故障し、無償交換を受ける場合には、お買い上げの販売店にレシート等の購買の証明となるものと本書を併せてご提示ください。
- 保証期間中でも、次の場合は保証の対象外となります。
 - (イ) 使用上の誤りや、不当な改造や修理による故障、損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の取扱過誤、落下及び輸送上の故障、損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地災、公害や異常電圧による故障、損傷。
 - (ニ) 接続する他の機器の異常によって生じた故障、損傷。
 - (ホ) 一般家庭用以外（業務使用、車両や船舶への搭載）で使用した場合の故障、損傷。
 - (ヘ) 樹脂表面（フッ素樹脂加工も含む）及びメッキの摩耗や打痕による損傷。
 - (ト) 本書のご提示無き場合。
 - (チ) 本書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記載のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - (リ) 転売品及び中古品（オークション購入等を含む）。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）
- 本書の再発行はいたしません。大切に保管していつでも取り出せるようにしてください。

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償交換をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過等についてご不明の場合は取扱説明書に記載の当社カスタマーセンターまでお問い合わせください。

天災等の不可避な災害、改造等本来の使用を逸脱した使用、お客様の不注意によって生じた故障や事故に関しましては弊社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

気化式加湿器はこまめに点検してください

このような症状はありませんか？
 製品の動作中に異常な音がする 本体が異常に熱くなる・焦げ臭いにおいがする
 その他の顕著な異常、故障、動作不良など

上記の異常が見受けられた場合は、故障や事故防止のため速やかに使用を中止し当社カスタマーセンターにお問い合わせください。

販売元：モダンデコ株式会社  0570-039-777

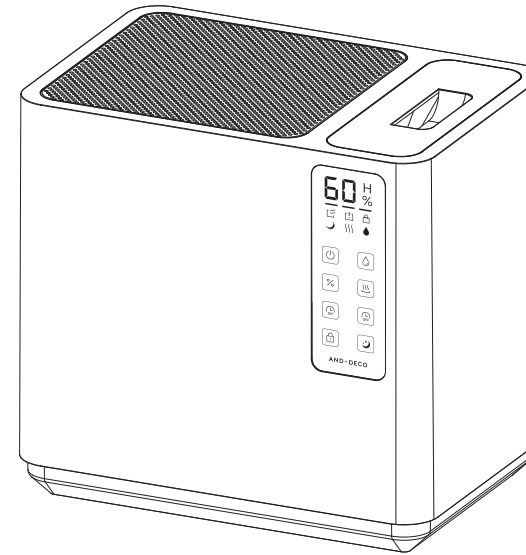
広島県広島市中区富士見町16-22 ロアール富士見町101 FAX 082-236-1298 営業時間 10:00~18:00

 MODERN DECO

取扱説明書

気化式加湿器

品番：dyk01



目次

安全上のご注意	2
使用上のご注意	3
各部の名称	4-7
ご使用方法	8-9
操作方法	10-13
リモコンのリチウム電池の交換方法	14
お手入れ方法	15-18
保管方法	19
故障かなと思ったら	19
製品仕様	19
保証書	20

この度は当社商品をお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書を最後までお読みいただき、正しい使い方で末永くご愛用ください。
お読みになった後は、いつでも取り出せる場所に大切に保管してください。

販売元：モダンデコ株式会社

広島県広島市中区富士見町16-22 ロアール富士見町101 FAX 082-236-1298 営業時間 10:00~18:00

十分な検査はしておりますが、万一不良などがございましたら
お手数ですが下記までご連絡ください。

 **0570-039-777**

本製品は一般家庭用です


本製品は一般家庭に限って開発された商品です。一般家庭での目的用途以外の使用や業務用としての使用はおやめください。
誤った使用、目的用途以外の使用は保証の対象外となりますので、あらかじめご了承ください。


安全上のご注意

ここに示した注意事項は、危害や損害を未然に防止するための重要な内容ですので、必ずお守りください。



図記号説明	 禁止	 必ず守る
-------	--	---

警告

-  ●改造しないでください。修理技術者以外の人は、分解・修理しないでください。火災・感電・けが・異常動作の原因となります。
- 水につけたり、水をかけたりしないでください。故障の原因となります。
- 濡れた手でコンセントや電源プラグを触らないでください。
- お風呂場や湿気の多い場所で使用しないでください。感電・故障の原因となります。
- 電源コード及び本体を傷つけない・無理に曲げない・ねじらない・引っ張らない・重いものをのせない・熱いものに近づけない・はさみこまない・加工しない・束ねたまま使用しないでください。
- 本体のミスト吹き出し口・隙間にピンや針金などの金属物や異物を入れないでください。感電・故障の原因となります。
- ミスト吹き出し口をふさがしないでください。変形・故障の原因となります。
- 本体から噴出されるミストを吸入しないでください。体調不良の原因となります。
- 子供など取り扱いに慣れない方だけで使わせたり、幼児に触れさせないでください。感電・ケガ・やけどの原因となります。
- 交流100V以外・延長コードでは使用しないでください。たこ足配線などで定格を超えると発熱し、火災・感電の原因となります。
- 本体を設置する際は、衝撃を与えないよう静かにおいてください。強い衝撃を加えると、水タンクが壊れる場合があります。

-  ●異音・異臭・異常発熱等が発生した場合は直ちに使用を中止してください。
※感電や火災、故障の原因となります。
- 定期的に本体・電源プラグのほこりはお取りください。ほこりがたまると湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。
- 使用しないとき・外出されるときは電源プラグを抜いておいてください。絶縁・劣化・感電・火災・けがの原因となります。
- 本体をお手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いておいてください。感電・ケガ・やけどの原因となります。
- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。火災・感電の原因となります。

注意

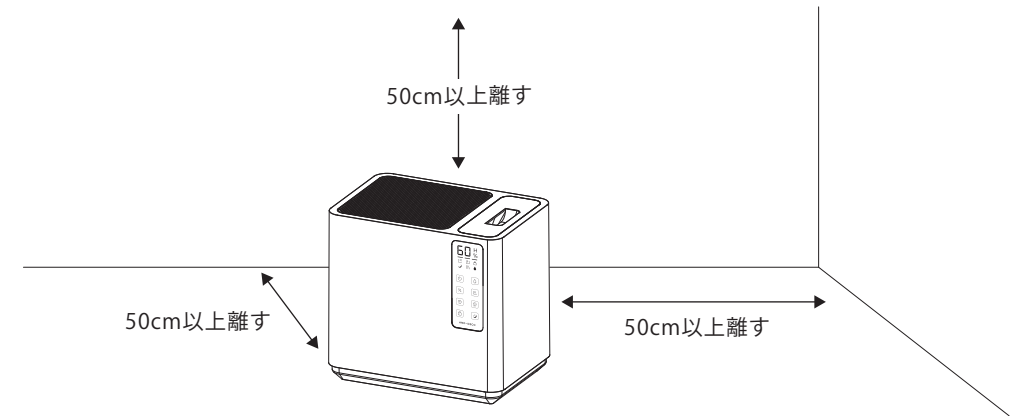
-  ●以下の場所では絶対に使用しないでください。水漏れ・誤動作・物的損害などのケガ・故障の原因となります。
 - 直射日光が当たる窓際や冷暖房器具・家電製品などの上や近くの場所
 - エアコン・ファンヒーターなどの風が直接当たる場所
 - カーペット・布団などの柔らかい生地ですでに設置に不安定な場所
 - 熱に弱い家具や床などの上の場所
 - 湿度及び温度の高い場所・また湿気がこもりやすい場所・ホコリの多い場所
 - 雨や水がかかるおそれのある場所
 - スピーカー・IH調理器(電磁調理器)などの電気製品・精密機器・磁気製品などが近くにある磁気の多い場所
 - 家具・カーテン・ふすまや障子などの近くの場所
 - 落とす・ぶつけるなどで強い衝撃を与えないでください。感電・故障・破損によるケガの原因となります。
 - 水タンク及び水槽の水を飲まないでください。体調を崩される原因となります。
 - 水道水以外は使用しないでください。40℃以上の水・化学薬品・芳香剤(アロマオイル)・ミネラルウォーター・アルカリイオン水・浄水器の水・井戸水などを使用してしまいますと、水漏れ・故障・内部の汚れによる機能不良につながる可能性があります。
 - 水タンクを外して使用するのは控えてください。水が飛び散ったり、床が濡れたりする原因となります。
-  ●電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに電源プラグを持って抜いてください。ショートによる感電・火災の原因となります。
 - 水タンク及び水槽の水は毎日新しい水道水に入れ替えてください。カビや雑菌が繁殖し、健康を害する場合があります。常に清潔な状態を保ってご使用ください。
 - 本体を移動させるときは水タンクの中にある水を全て捨てたうえで電源を切った状態にしてから、移動させてください。
 - リモコンに付属されているリチウム電池につきまして、万が一、リチウム電池を飲み込んだ場合、直ちに医師に相談してください。発熱・破裂による液漏れやケガの原因となります。
 - 長期間使わない場合は電源プラグをコンセントから抜いて、水タンクと本体に残っている水を捨てたうえで保管してください。放置し続けると、電源プラグの絶縁不良・カビや雑菌が繁殖し、健康を害する可能性があります。

使用上のご注意

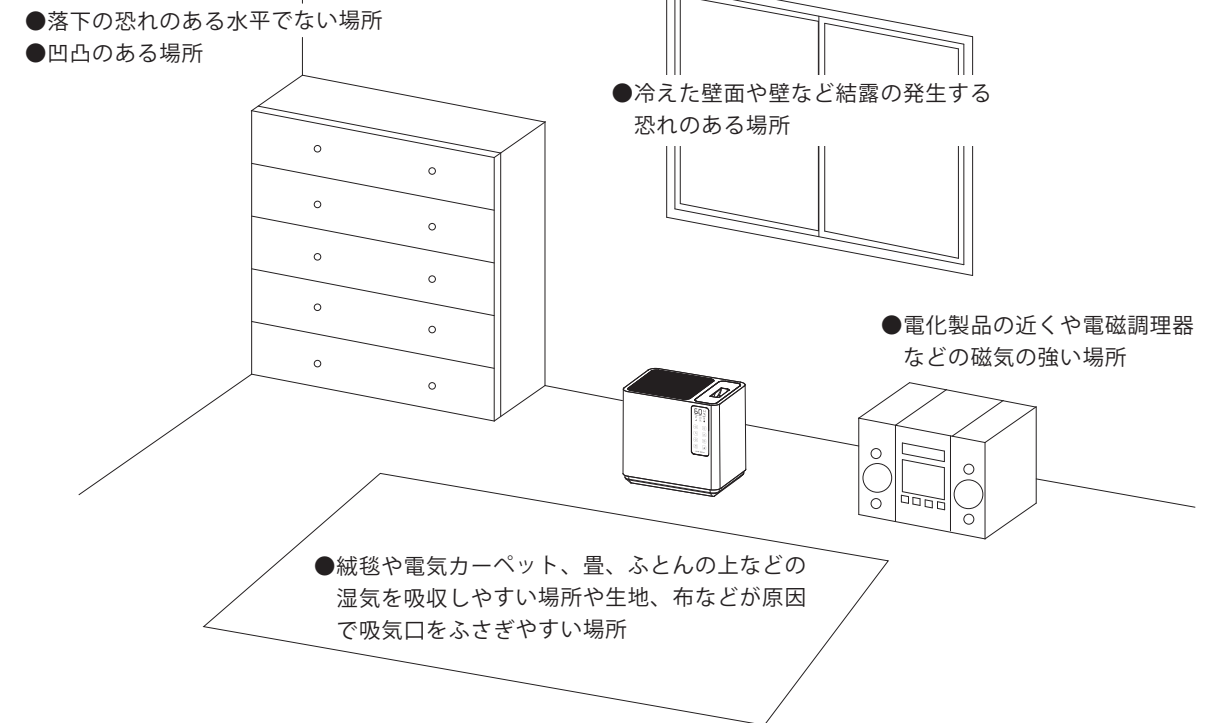
設置場所に関して

※加湿量を最大にした場合、ファンの音が大きくなりますので、設置場所には気を付けてください。

- 水平な場所で壁、家具、家電製品などから50cm以上離して設置してください。本体を設置する際は、衝撃を与えないようにしてください。強い衝撃を加えると、水タンクが壊れ、水漏れの原因となる場合があります。



※下記にあげる場所には絶対に設置しないでください。



【使用方法に関して】

凍結する恐れがある場合は本体に入っている水を全て捨ててください。動作不良及び結露・設置場所付近の水濡れの原因となります。

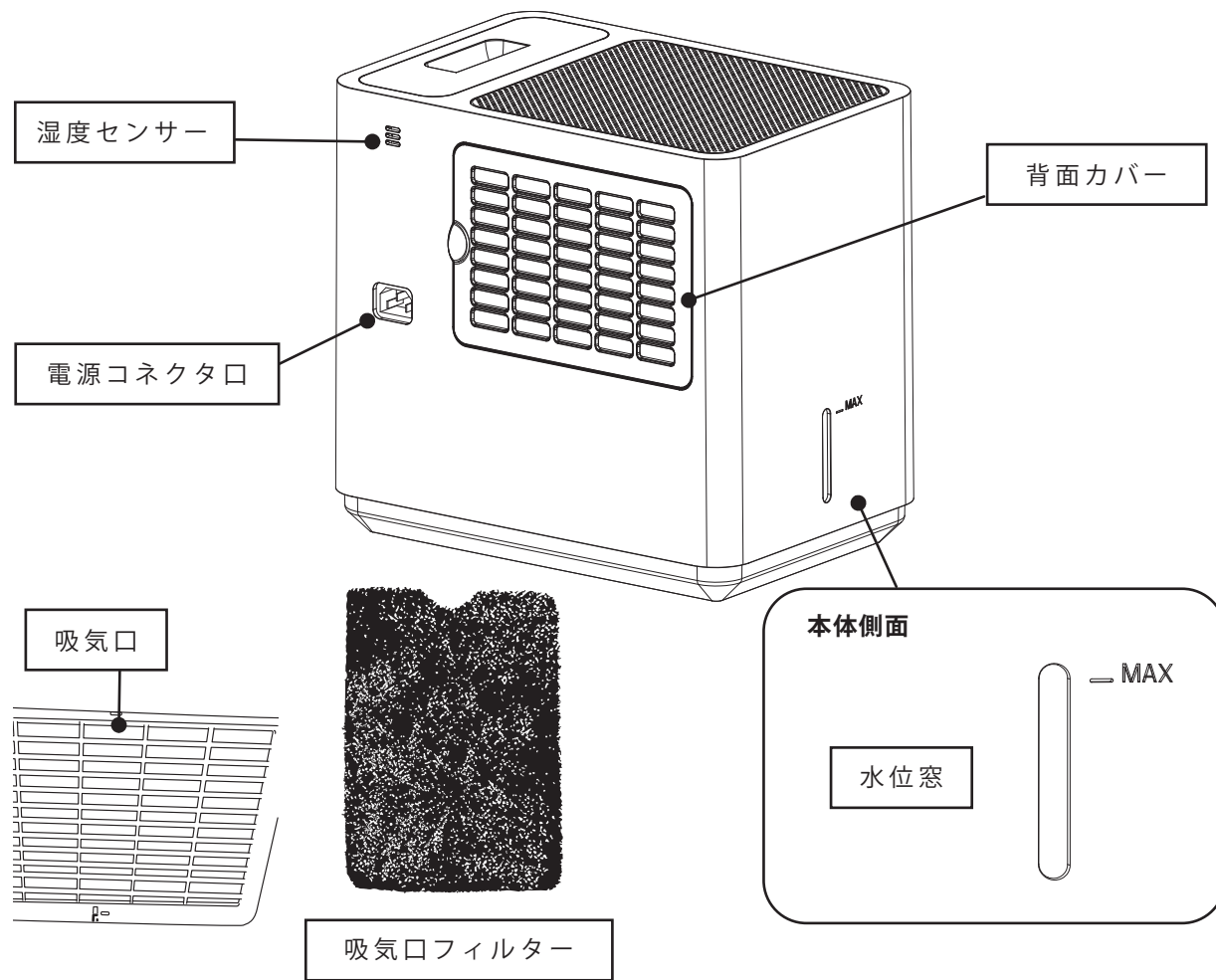
湿度の高い場所(約70%以上)で使用しないでください。故障・動作不良の原因となります。

室内温度は0~35℃の間で使用してください。その温度帯以外で使用してしまいますと、故障・動作不良の原因となります。

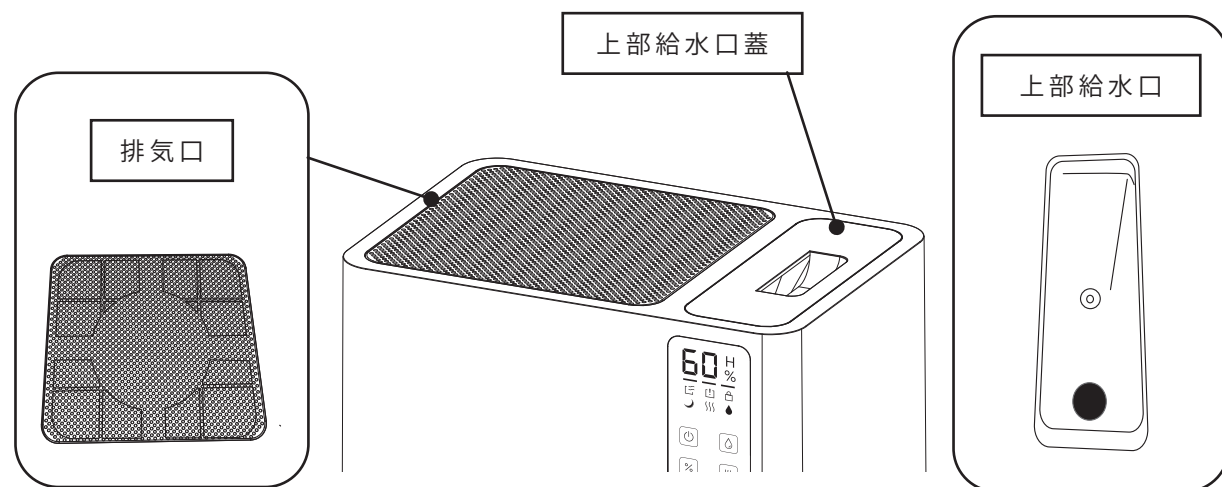
排気口を手やタオルなどでふさがらないでください。故障の原因となります。

各部の名称

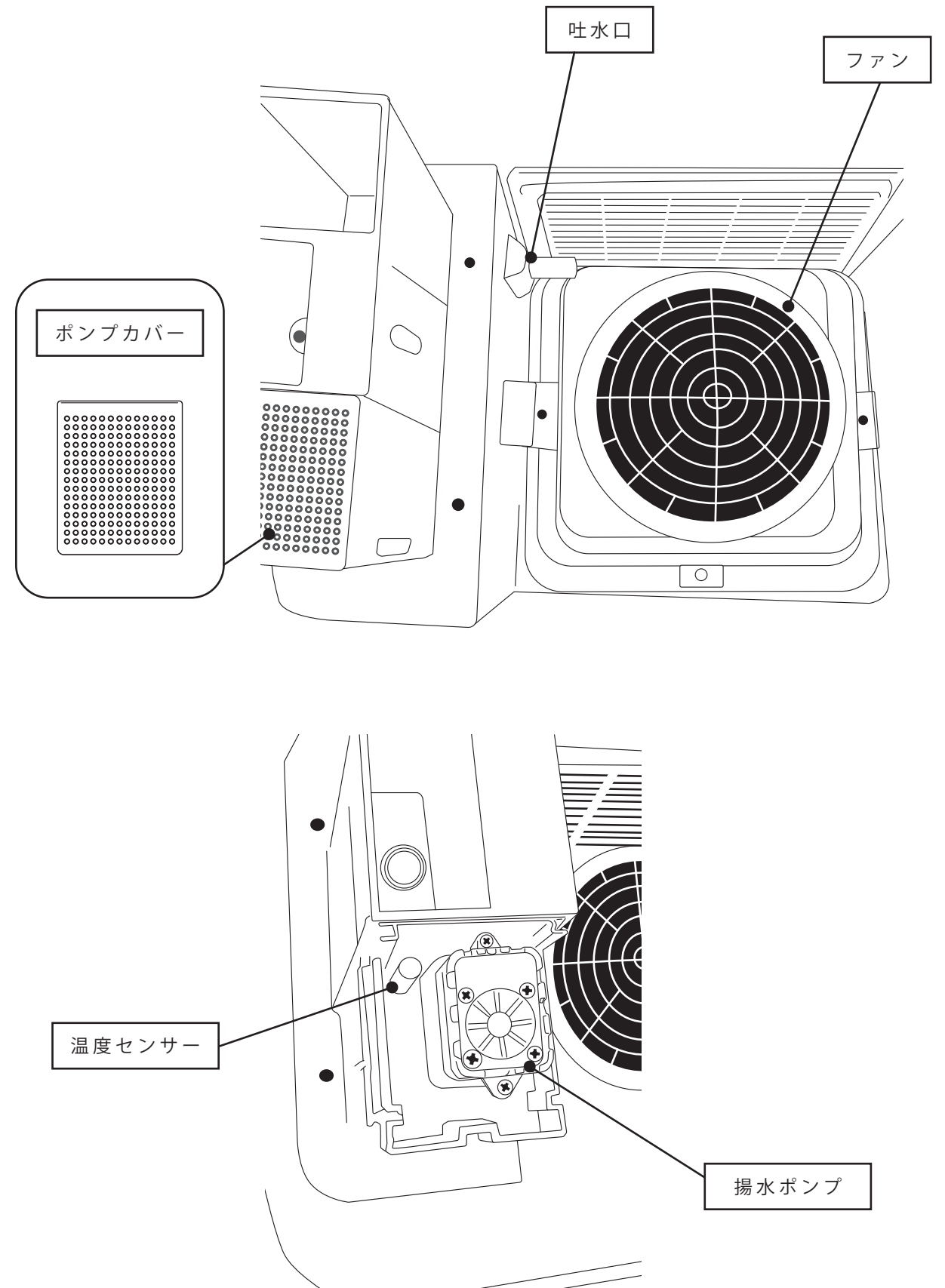
本体裏側



本体上部

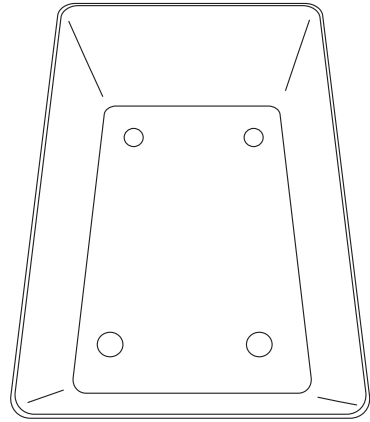


本体内部

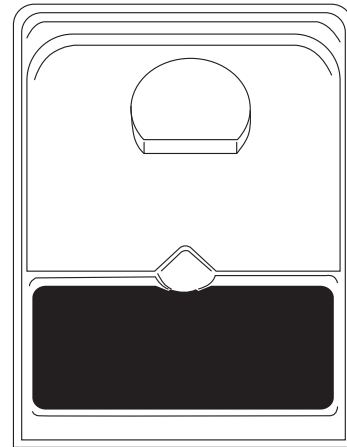


本体内部部品

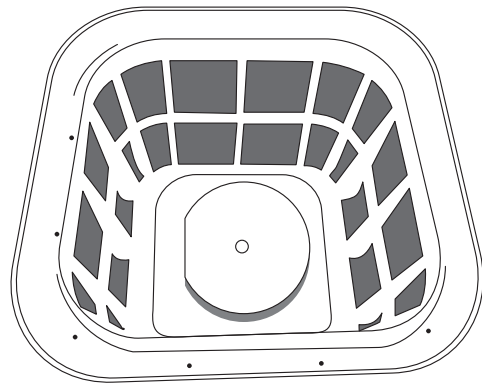
水タンク



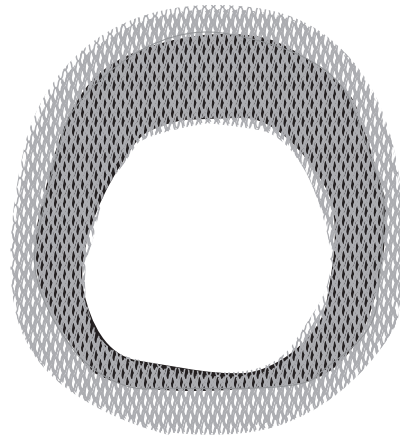
水タンク蓋



フィルターバスケット



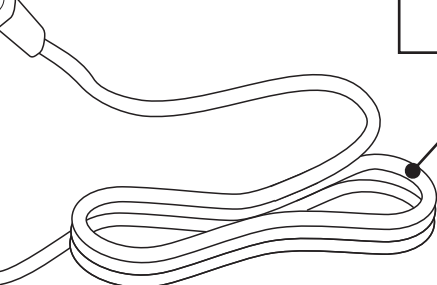
水フィルター



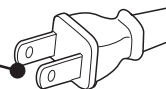
電源コネクタ



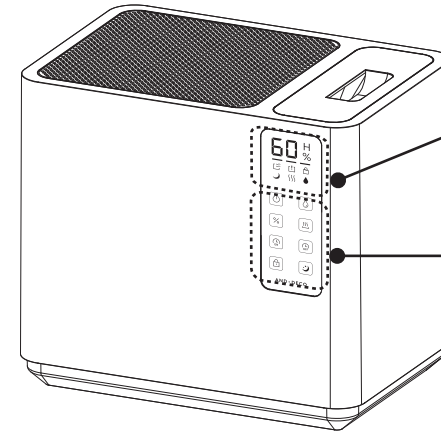
電源コード



電源プラグ



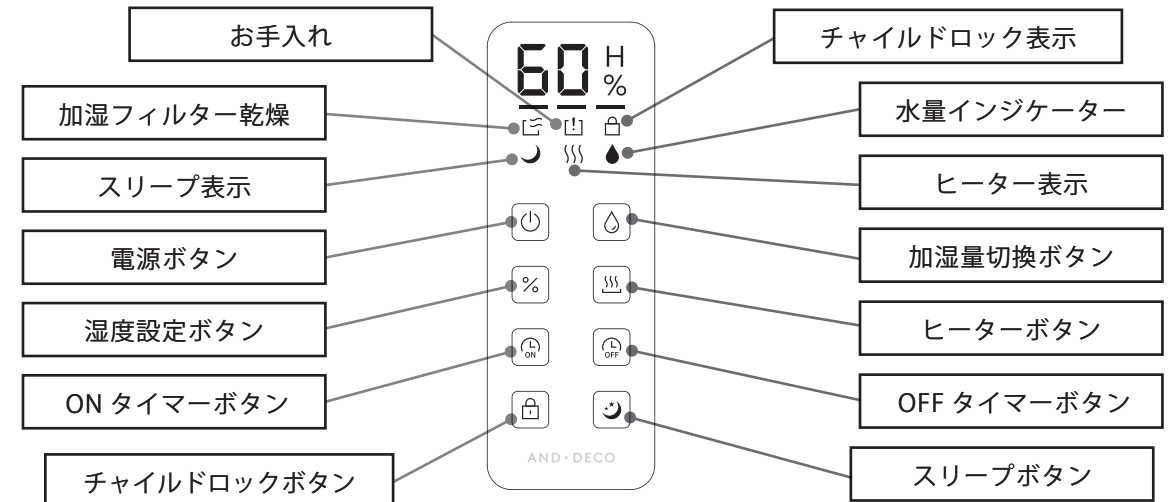
本体正面



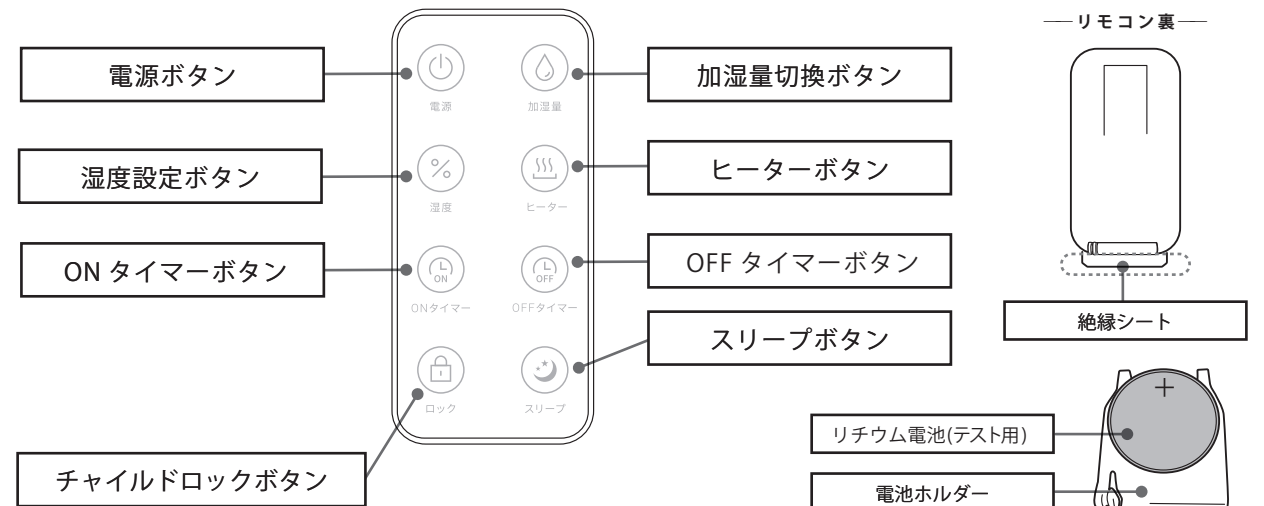
表示パネル

タッチパネル

表示パネル・タッチパネル拡大図



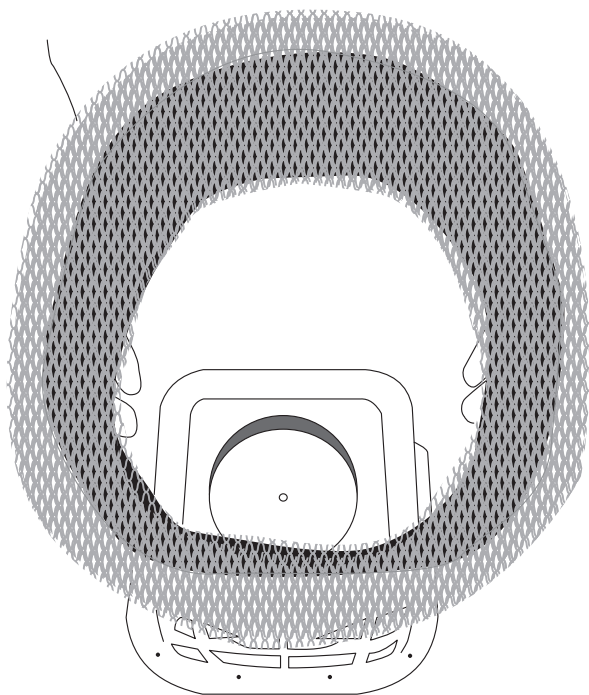
リモコン



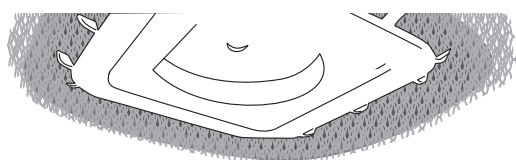
ご使用方法

ご使用前の準備

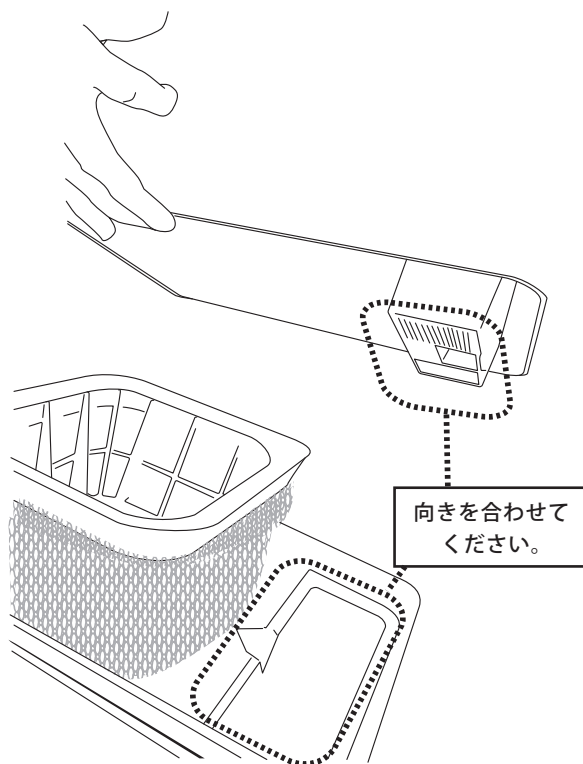
1. 水フィルターをフィルターバスケットに差し込みます。



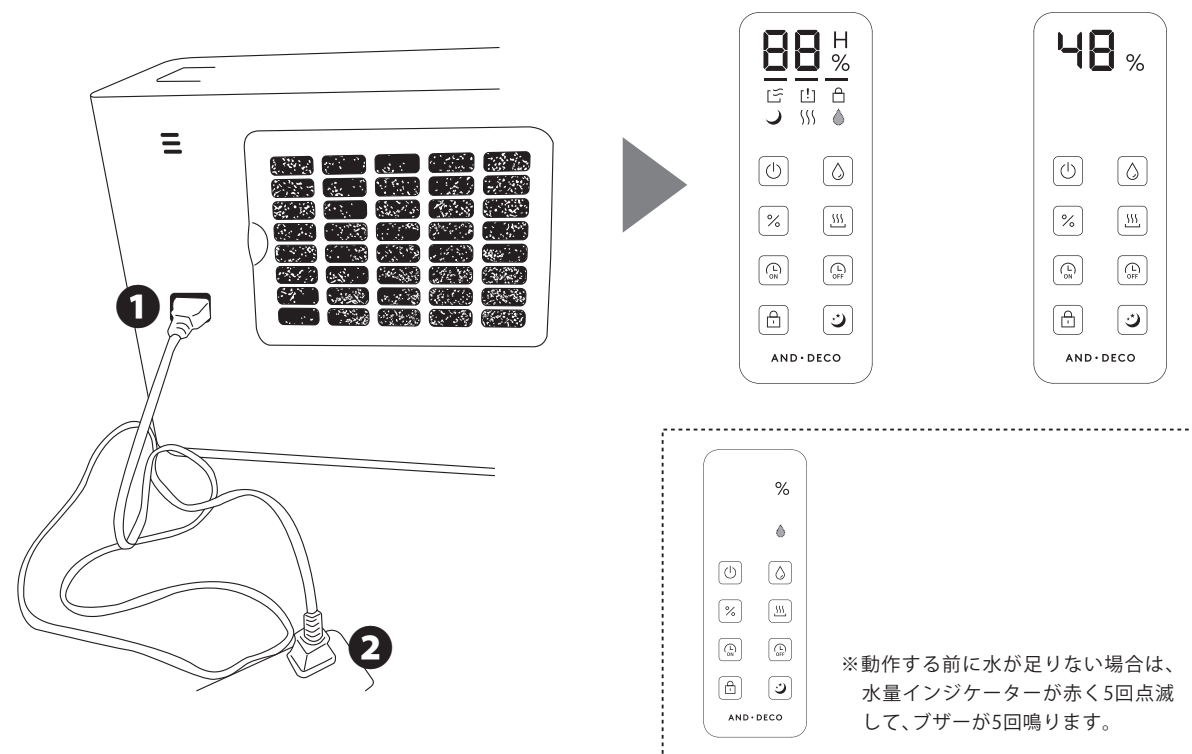
2. 水タンク蓋とフィルターバスケットのくぼみを合わせて、セットします。



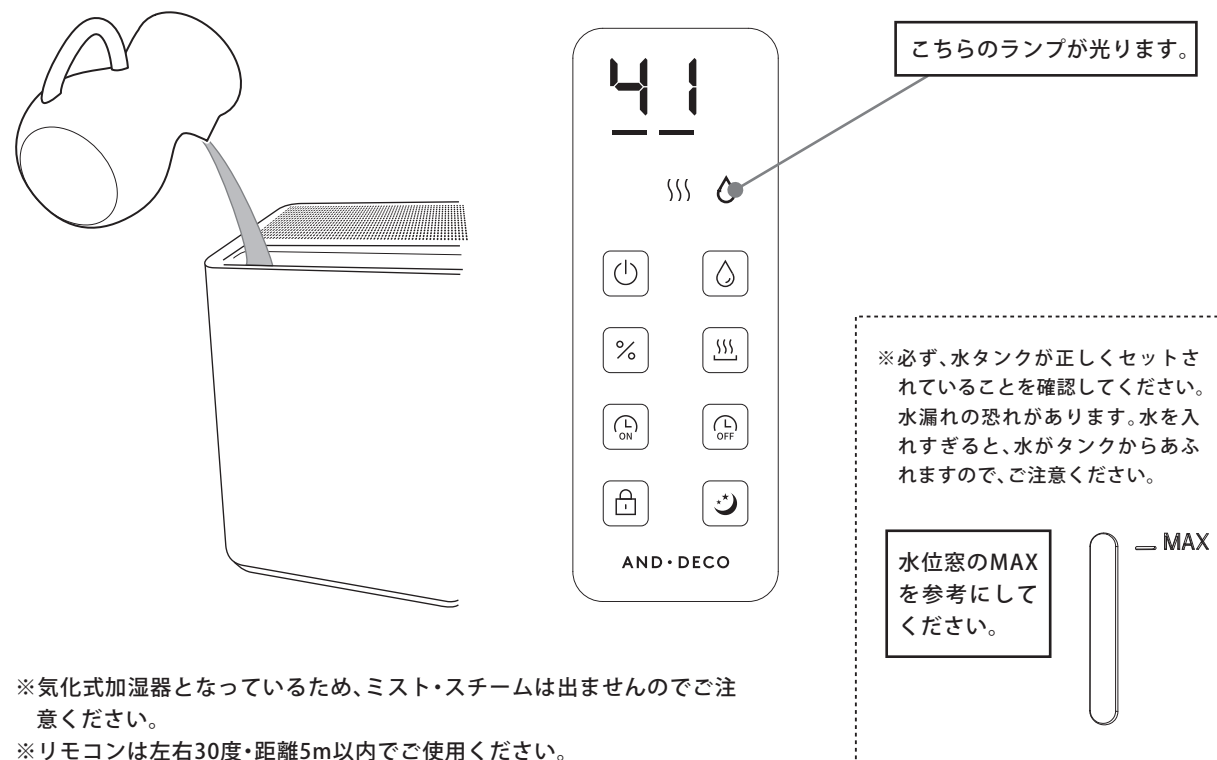
3. 本体をセットします。



4. 電源コネクタ口に電源コネクタを入れます。その後、電源プラグをコンセント(100V)に確実に奥まで差し込んでください。正しく差し込みますと、全ての表示ランプが点灯して、ピーと音が鳴り、加湿器が待機状態になります。



5. 水位窓を確認しながら、本体に水を注ぎます。※満水まで入れますと、水量インジケータが白く点灯します。水位窓のMAXを参考にしてください。

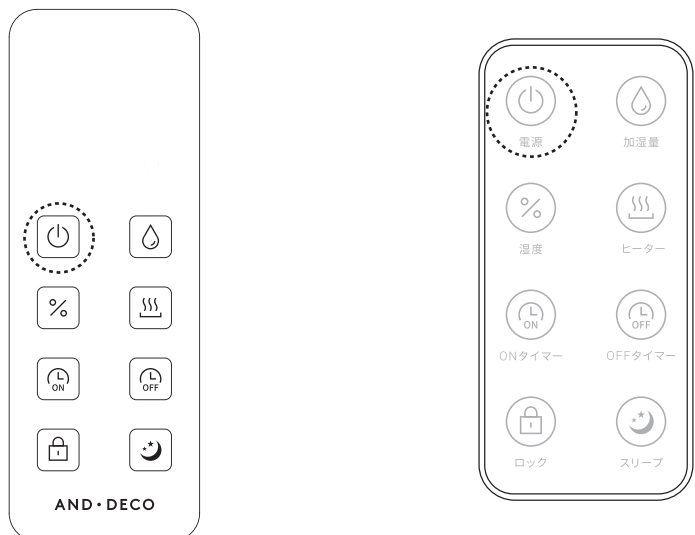


※気化式加湿器となっているため、ミスト・スチームは出ませんのでご注意ください。

※リモコンは左右30度・距離5m以内でご利用ください。

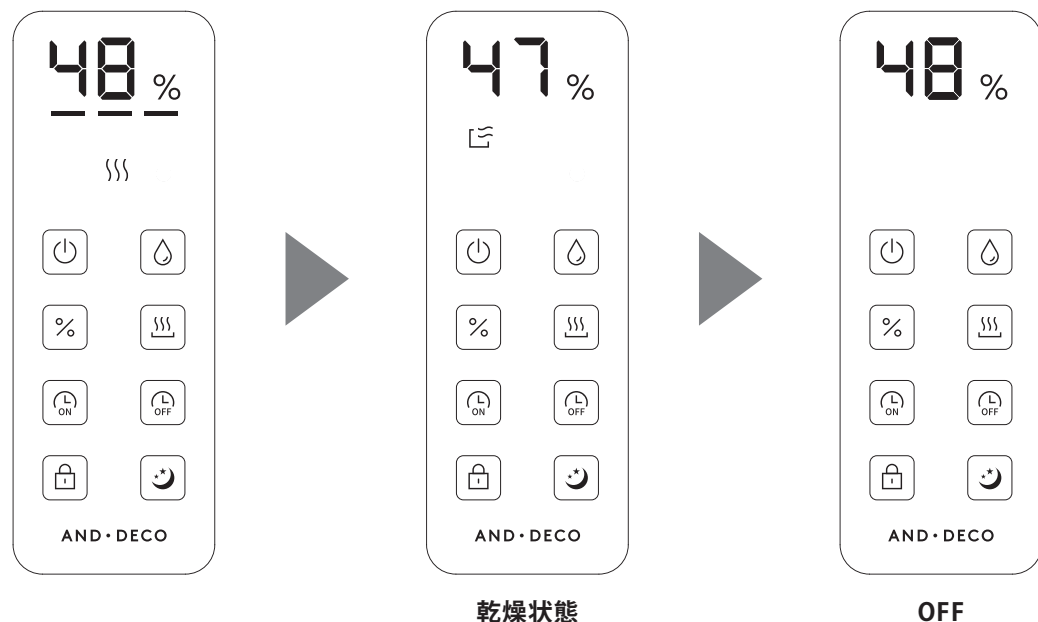
電源ON

本体タッチパネルもしくはリモコンの電源ボタンを押しますと、加湿器は運転状態になり、ファンが作動します。加湿量の初期設定は弱になっており、表示パネルには現在の湿度が表示されます。また、ヒーターの表示が点灯します。



電源OFF

運転状態で本体タッチパネルもしくはリモコンの電源ボタンを押しますと、ファンは乾燥モードになります。乾燥モードは、ファンが約30分動作した後に、自動的に電源OFFになります。乾燥モード中に、再度電源ボタンを押しますと、乾燥モードが終了し、電源OFFになります。



メモリー機能

使用して、コンセントから電源プラグを抜かない場合は、タイマー・スリープ・湿度設定以外は前回使用時の状態で保持されます。コンセントから電源プラグを抜いた場合は、初期状態に戻りますのでご注意ください。

加湿量設定

本体タッチパネルもしくはリモコンの加湿量切換ボタンを押しますと、加湿量の調節をすることができます。加湿量設定には弱・中・強の3段階があり、加湿量設定すると、表示パネルに選択された段階が表示されます。なお、初期段階は弱となっており、弱→中→強の順番になっています。



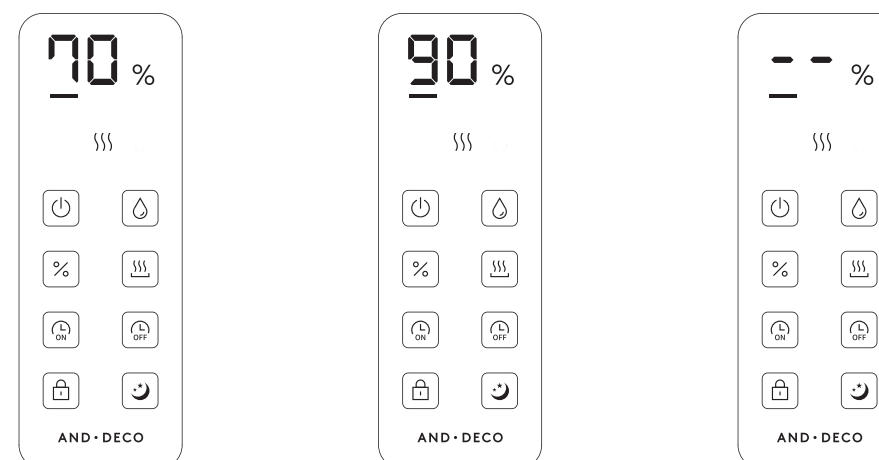
加湿量目安表

	加湿【弱】	加湿【中】	加湿【強】
加熱なし	約 130±30ml/h	約 180±30ml/h	約 230±30ml/h
加熱	約 300±50ml/h	約 400±50ml/h	>600ml/h

それぞれの段階の消費電力の目安として、弱は、3±1W・中は、4±1W・強は、9±1Wです。消費電力はいつも同じ数値で維持するものではなく、環境温度やHzの変化などが高くなったり低くなったりします。ヒーター使用時の消費電力の目安としては、弱は、314W±10%・中は、315W±10%・強は、320W±10%です。

湿度機能設定

本体タッチパネルもしくはリモコンの湿度設定ボタンを押しますと、湿度設定画面になり、表示パネルには前回(初回以外)の湿度設定値が表示されます。設定湿度が現在の湿度より高くなると、加湿が強くなり、現在の湿度が設定湿度より3%高くなる時に加湿が停止します。現在の湿度が設定湿度より3%低くなった時に再び加湿が開始されます。湿度設定を使用しますと、設定湿度が現在の湿度より低い時は、加湿器が運転しません。湿度設定は30%→35%→40%→45%→50%→55%→60%→65%→70%→75%→80%→85%→90%→「--」(「--」は湿度を設定していないことを表し、加湿器は常に稼働しています)のようになっています。初期設定値は「--」です。



湿度設定画面は3秒以内に操作がないと、表示パネルに現在の湿度が表示されます。湿度設定ボタンを押しますと、初期値は「--」となっています。

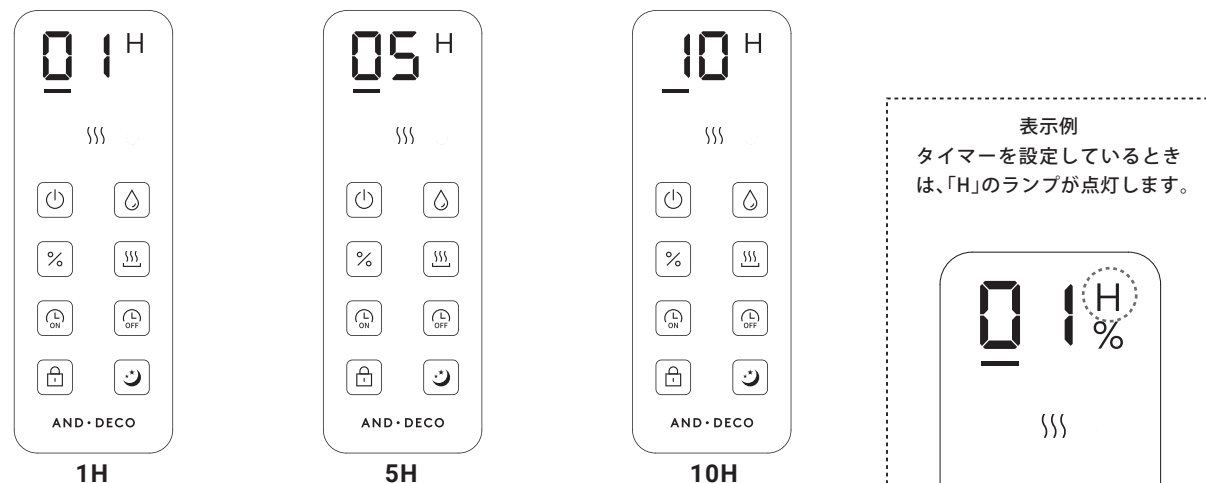
ONタイマー設定

本体タッチパネルもしくはリモコンのONタイマーボタンを押しますと、タイマーが設定でき、設定しますと表示パネルにタイマー時間が表示されます。1 H→2 H→3 H→4 H→5 H→6 H→7 H→8 H→9 H→10H→11H→12H→00のように設定することが可能です。00を選択しますとタイマーは解除されます。設定した時間になりますと、自動的に電源が入ります。

タイマー設定後、3秒間操作がないと、再度表示パネルに現在の設定時間が表示されます。

OFFタイマー設定

本体タッチパネルもしくはリモコンのOFFタイマーボタンを押しますと、タイマーが設定でき、設定しますと表示パネルにタイマー時間が表示されます。1 H→2 H→3 H→4 H→5 H→6 H→7 H→8 H→9 H→10H→11H→12H→00のように設定することが可能です。00を選択しますとタイマーは解除されます。設定した時間になりますと、自動的に電源が切れます。



タイマー設定後、3秒間操作がないと、再度表示パネルに現在の湿度と現在の設定時間が表示されます。

チャイルドロック設定

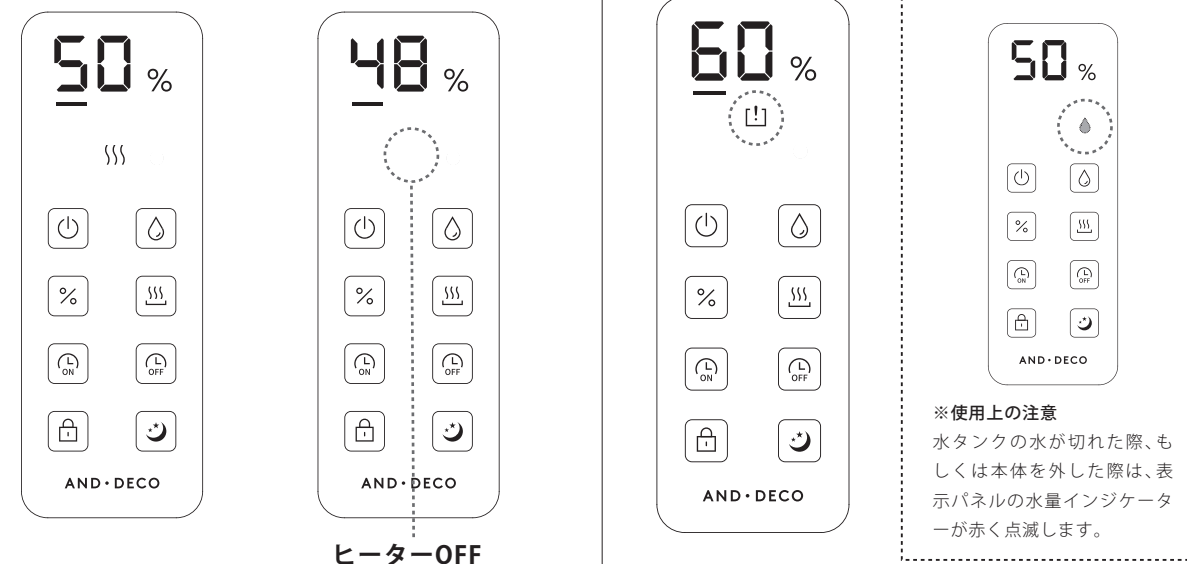
本体タッチパネルのチャイルドロックボタンを約3秒押し続けると、チャイルドロックモードが起動して、チャイルドロックランプが点灯します。(※リモコンのチャイルドロックボタンは1回押しすると、起動します)

チャイルドロック機能がONの際は他のボタンを押しても反応がありません。また、本体タッチパネルもしくはリモコンのチャイルドロックボタンを約3秒押し続けると、チャイルドロックが解除され、チャイルドロックのランプが消灯します。



PTCヒーター設定

※ヒーターは加湿効率を上げるためであり、ミスト・スチームが暖めるものではありません。ご注意ください。
本体タッチパネルもしくはリモコンのヒーターボタンを押しますと、ヒーターランプが点灯します。
再度本体タッチパネルもしくはリモコンのヒーターボタンを押しますと、ヒーターランプが消灯します。

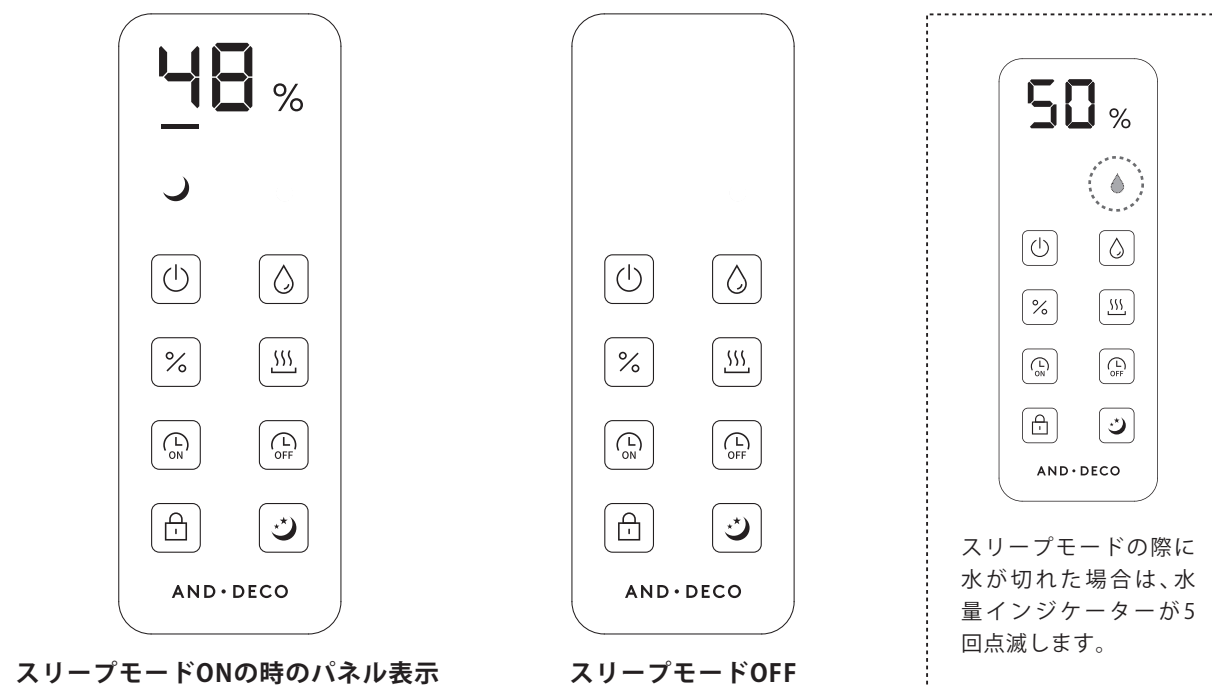


※使用上の注意
水タンクの水が切れた際、もしくは本体を外した際は、表示パネルの水量インジケータが赤く点滅します。

スリープモード設定

本体タッチパネルもしくはリモコンのスリープボタンを押しますと、スリープランプが点灯します。スリープモード中は、全ての表示ランプが点灯しません。また、タッチパネルのボタンを押すと、点灯しますが、3秒後に再び消えます。再度本体タッチパネルもしくはリモコンのスリープボタンを押しますと、スリープランプが消灯します。

※スリープモードONの際でも、ボタン操作は可能です。



スリープモードの際に水が切れた場合は、水量インジケータが5回点滅します。

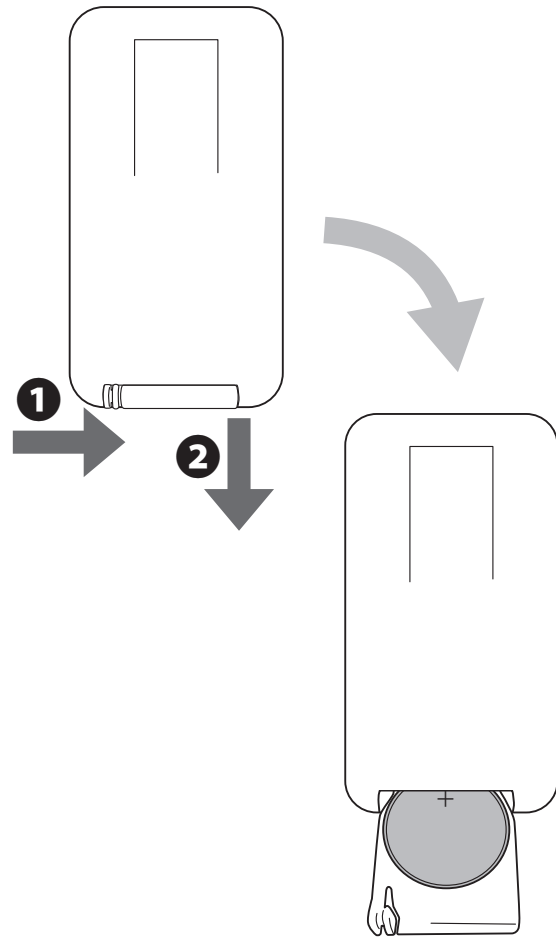
リモコンのリチウム電池の交換方法

※ご使用前に電池の絶縁シートを抜いてください。

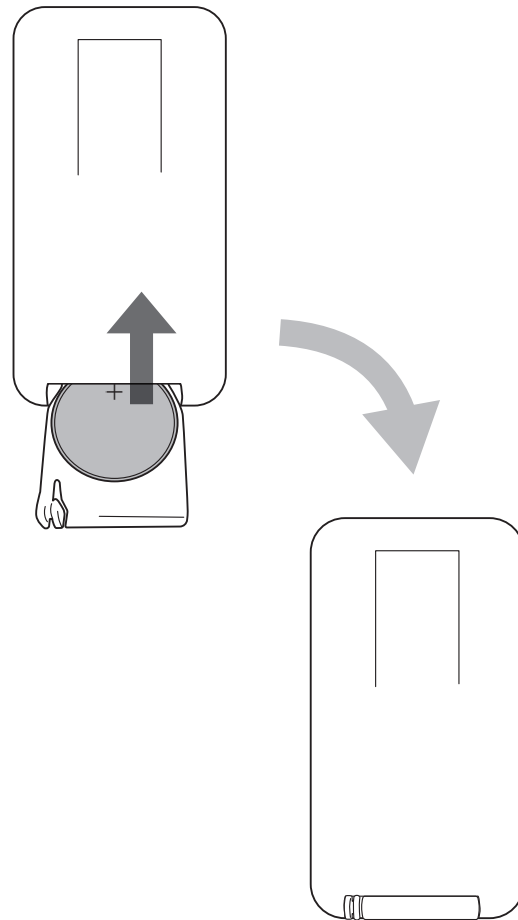
※本体に付属するボタン電池は、工場出荷時の動作確認に使用するテスト電池です。本体の付属品ではありません。出荷時期によっては、電池が切れている場合がございます。その際は、お客様で新しいものをお買い求めください。

●電池の交換方法

1. 電池ホルダーを引き抜く。爪を矢印方向へ押さえながら引き抜いてください。



2. 新しい電池に交換する。+を上向きにセットして、リモコン本体に差し込んでください。



電池についての注意

- 電池に表示された警告・注意を必ず守ってください。
- 万が一、液漏れが生じた時は、素手で触らないでください。また液が目に入った時は直ちに水道水などで洗い流して医師の治療を受けてください。手や服についた時も、すぐに水道水で洗い落としてください。
- 飲み込み防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万が一飲み込んだ場合は医師の治療を受けてください。
- 火に入れる行為・加熱する行為はおやめください。
- 分解しないでください。
- 「+」と「-」を間違えて入れないでください。
- 水をかける行為・濡らす行為は控えてください。
- 充電しないでください。
- 廃棄する際は、テープなどで接点部を絶縁してください。また、廃棄の方法はお住まいの自治体のルールに従ってください。

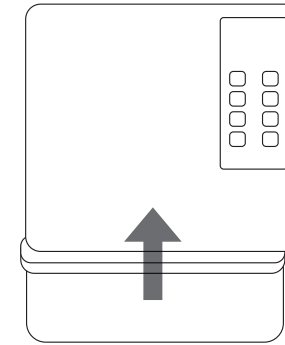
お手入れ方法

※お手入れをする際は、コンセントから電源プラグを抜き、本体から電源コネクタを抜いたうえで行ってください。

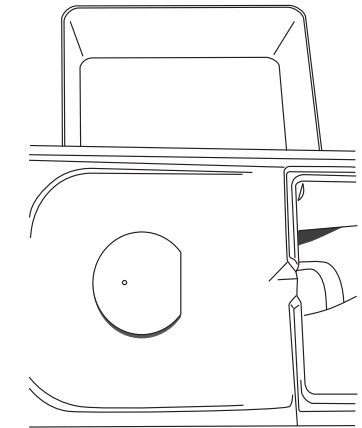
排水方法

1. 本体を上を持ち上げて、取り外します。

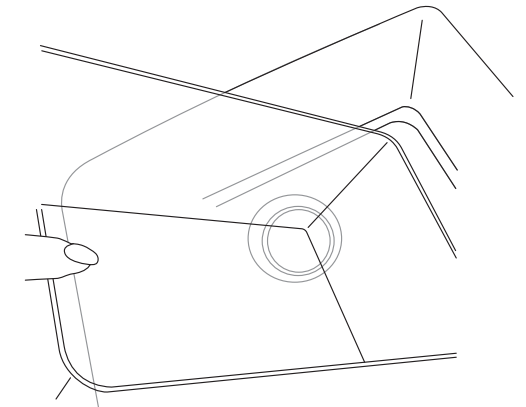
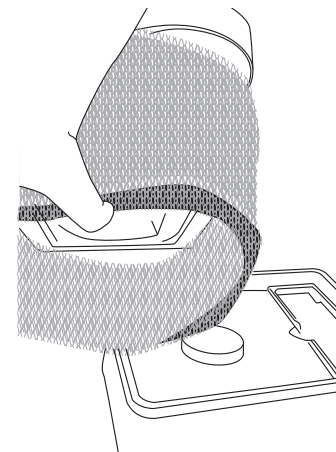
※外す際に揚水ポンプ内に残っている水がこぼれますので、周辺に濡れたら困るものを置かないでください。



3. タンク蓋を外して、水タンク内の水を傾けながら、排水します。

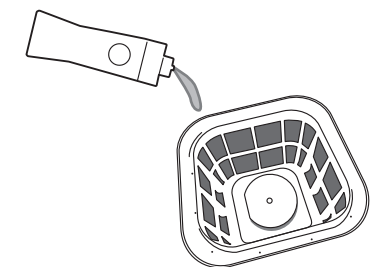
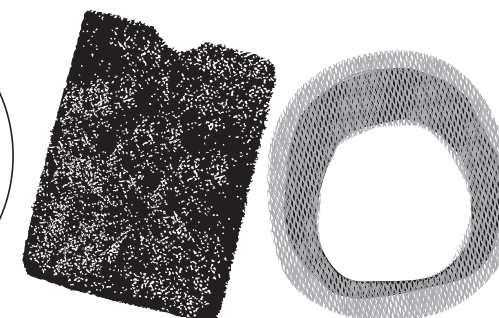
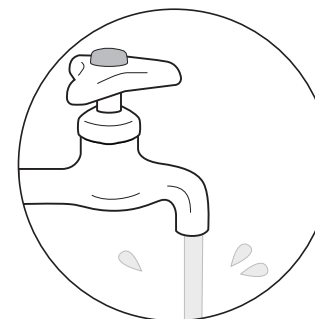


2. フィルターバスケットとフィルターを外します。



吸気口フィルター・水フィルターの清掃方法

※1週間に1回程度水洗いで汚れやゴミを取り除きます。



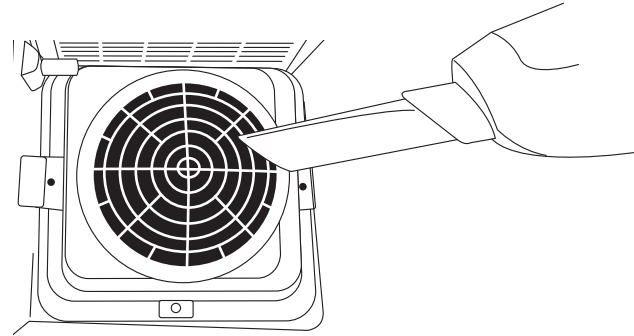
※フィルターバスケットが汚れている場合は洗剤で洗い流してください。

ファン・吸気口の掃除方法

※1週間に1回程度汚れやゴミを掃除機で取り除きます。

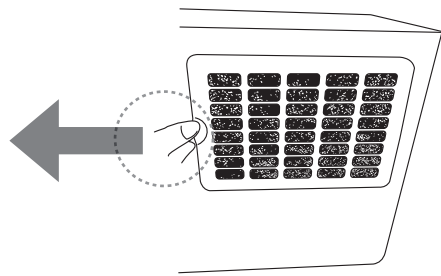
ファン

※汚れやほこりがたまりま
すと、風量が弱くなる場合があ
ります。

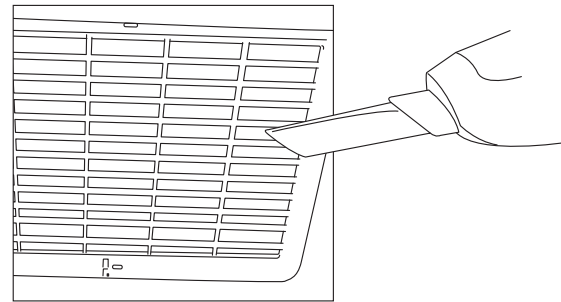


吸気口

1.以下の点線枠の部分に手を入れて、手前に引っ張ります。

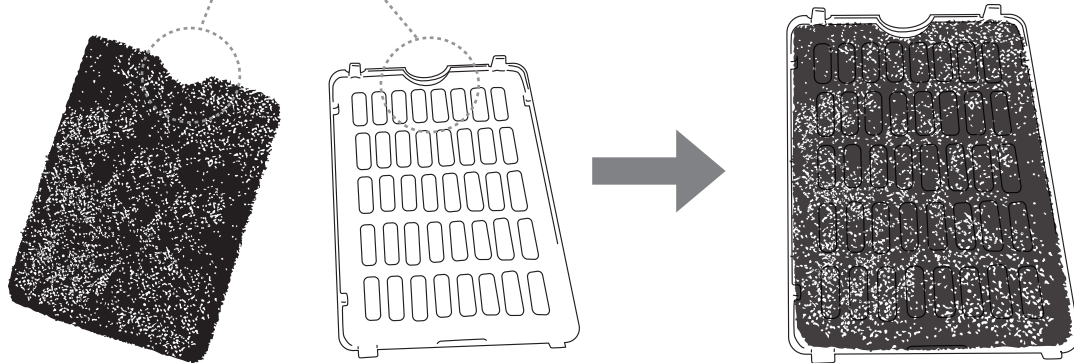


2.吸気口にある汚れやほこりを掃除機で吸い取ります。



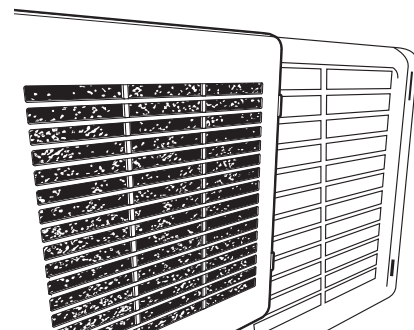
3.背面カバーに戻します。

切りかけの位置を合わせてください。



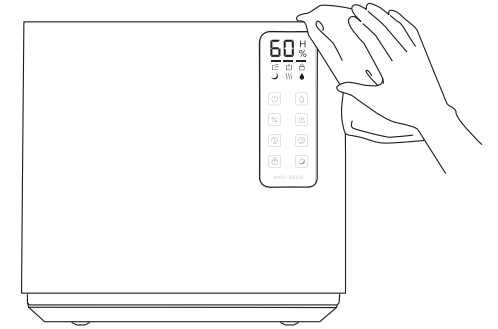
4.背面カバーを本体に戻します。

背面カバーについているつめを本体の点線の丸箇所と併せてから、はめこんでください。正しい位置についていることを確認した後に押し込んで取り付けてください。



本体外部のお手入れ方法

- お手入れは週2回以上おこなってください。
- 柔らかい布で乾拭きして汚れやホコリなどを拭き取ってください。
- 汚れが落ちにくい時は、薄めた中性洗剤に浸した柔らかい布で汚れを拭き取った後、洗剤成分が残らないよう固くしぼった柔らかい布で拭き取ってください。仕上げに綺麗な柔らかい布で乾拭きしてください。
- 塩素系、アルカリ性の洗剤やシンナー、アルコール、ベンジン、有機溶剤は使用しないでください。
- お手入れのあとは本体が完全に乾いてからご使用ください。

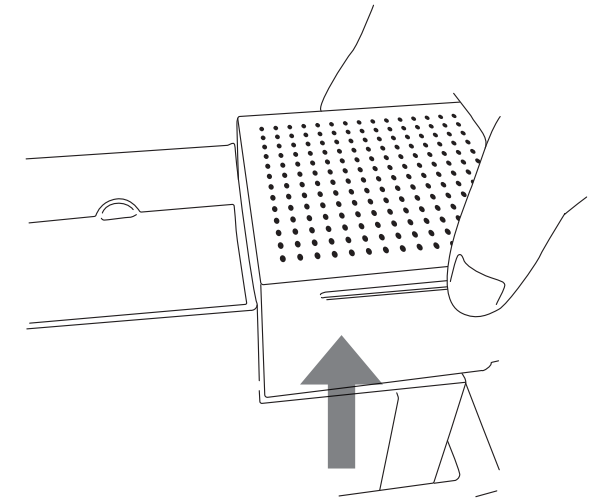
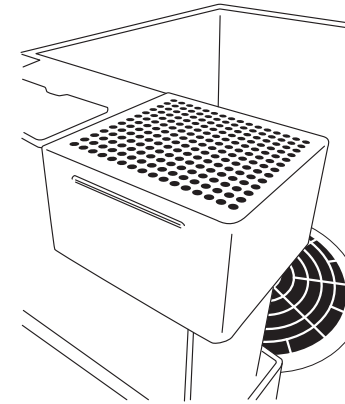


本体内部のお手入れ方法

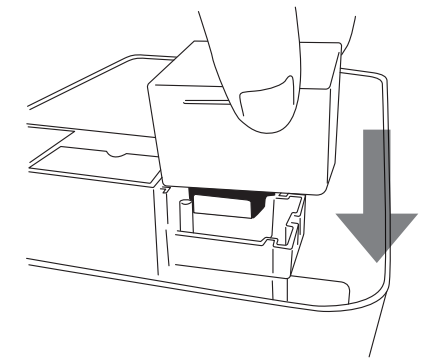
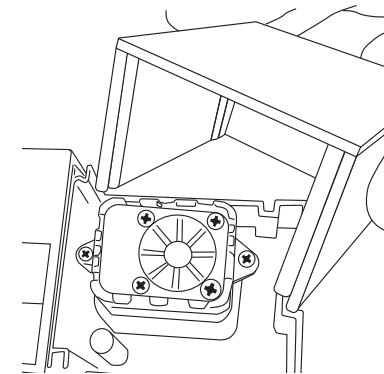
ポンプカバーの外し方

※汚れやほこりがたまりま
すと、揚水ポンプの異音が発生する場合があります。

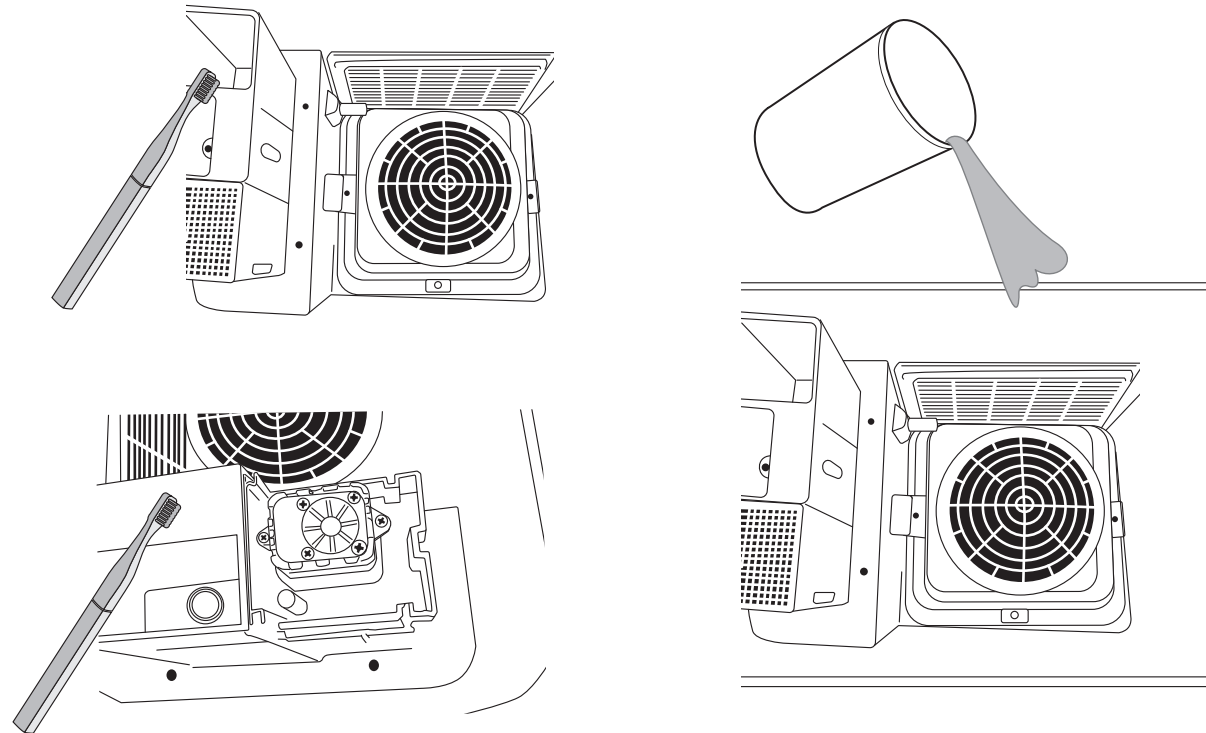
- 1.出っ張りのある部分を持ちながら、上に引っ張ります。
※取り外すのに力がいら
ますのでご注意ください。



- 2.溝がある位置を合わせながら、下に押し込みます。



- お手入れは2週間に1回程度おこなってください。
- 使用に伴い水道水に含まれているミネラル分やカルキ、銹物成分などが付着していきます。
- これを放置すると加湿機能の低下や故障の原因となりますので柔らかいブラシなどで内部の汚れを掃除してください。
- 汚れが落ちにくい時はクエン酸を使用してお手入れをしてください。



※お手入れが終わったあとは必ずよく乾燥させてください。

■クエン酸を使用したお手入れ方法

使用する頻度や使用方法によっては、白い粉が付着する場合があります。これは水道水に含まれるカルシウム成分が付着し、固まったものです。この場合はクエン酸を用いて掃除することができます。

まずクエン酸水をつくります。40℃以下のぬるま湯3リットルに、20グラムほどのクエン酸を入れてまぜ、クエン酸水をつくります。これで白い粉が付着しやすい場所や水タンクなどの落ちにくい汚れを落としていきます。クエン酸の濃度が高いと破損の原因となりますので、まず最初に少量をこすりつけて色落ちしないか確認してから使用してください。またトップカバーやタンクなどはつけ置き洗いができます。洗面台などのぬるま湯をはり、3リットルに20グラムの割合でクエン酸水をつくり、汚れを落としたい部分をつけ置き洗います。クエン酸はさすがに不十分だと臭いや故障の原因ともなりますので、気になる場合は何度もすすぎ洗いをしてください。

■カビを防止するために

カビがはえてしまうと、内部にできたカビとその胞子は、加湿器を使うことによって部屋中に拡散されます。そしてその菌が肺に入り、肺炎になるなどの病気報告もあります。カビを防止するためにできる方法をいくつかご紹介します。

①水道水を使用する

水道水は一般的に塩素処理されており、雑菌が繁殖しにくくなっています。40℃以上の温水や浄水器の水・アルカリイオン水・ミネラルウォーター・井戸水などはカビや雑菌が繁殖する原因となりやすいので、水道水を使用してください。

②水タンクの水は毎日変える

長時間(24時間以上)使用しない場合は水タンクと本体に残っている水をすべて捨ててください。カビや雑菌が繁殖し、健康を害する恐れがあります。タンクの内部は常に清潔な状態を保ってご使用ください。

記載内容に従ったお手入れの仕方・保管方法・お手入れ方法をおこなっていただけない場合はカビやレジオネラ菌などの発生により健康を害し、死亡例もありますので、必ず記載されたお手入れの仕方・保管方法をお守りいただきますようお願いいたします。

保管方法

- お手入れをして、よく乾燥させてから保管してください。汚れや水分が残ったまま長時間保管すると悪臭やカビが発生する原因となります。
- タンクと本体内部の水を排水して、陰干ししてよく乾燥させてください。また高温多湿の場所を避けて保管してください。
- 本体や水タンクは保管する前に約1週間程度自然乾燥させてください。

故障かなと思ったら

こんな時は？	以下の現象をお確かめください
電源を入れても動かない	電源プラグが抜けていませんか？ →電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。 一定量の水が水タンクに入っていますか？ →水タンクに水道水を入れてください。
ミストが出てこない	本製品は気化式加湿器のため、目に見えるミストは出てきません。
異常な音がる	強段階に設定した際にファンの回転音が強くなる場合がありますが、正常です。 ファンに汚れやほこりが付着していますと、ファンの重量バランスが狂い、振動音が大きくなる場合があります。清掃してください。
水タンクから水があふれる	水タンクが割れていませんか？ →割れないように慎重に取り扱ってください。
本体周辺や床が濡れる	水タンクが割れていませんか？ →割れないように慎重に取り扱ってください。 温度差により、結露が生じている場合があります。室温の調整をして下さい。
部屋の湿度計と加湿器の湿度表示が違う	本体に搭載されている湿度センサーとお部屋の湿度計では、感知方式や構造(アナログ式)の違いにより、相違が生まれることをあらかじめご了承ください。

製品仕様

品名	気化式加湿器	製品サイズ(約)	幅312×奥行212×高さ292mm
品番	dyk01	製品質量(約)	3.55kg
定格電圧	AC100V	電源コード長さ(約)	1.6m
定格周波数	50/60Hz	タンク容量(約)	5.5L
消費電力	320W	生産国	中国